

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	大規模木質構造の振動障害に関する小委員会	主 査 名：中村 昇 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 木質構造運営委員会	委員長名：中島正愛 主 査 名：河合直人
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>これまで「木質系住宅の振動障害に関する小委員会」では、木質系住宅の加速度レベルを低減できる設計指針の作成を目指して活動してきたが、問題点が多く、まとめきれていないのが実状である。また、「公共建築物木材利用促進法」にともない、大規模木質構造が増えることが予想されるが、大スパン木質床の振動性状が人体知覚に及ぼす影響に関する研究は皆無である。そこで、これまでの活動を継続しつつ、大スパン木質床の振動性状と人体知覚を包含したものとする。</p> <p>・2012 年度：大規模木質構造を想定した、数種類の木質床に対し、静剛性を変化させ、基本振動数等を測定する。同時に、歩行やかかと落とし等に関する人体知覚を求め、床性状と人体知覚の関係を解析する。また、1) 水平・鉛直方向の増幅量を求めるための振動台実験、2) 木質系住宅における増幅メカニズムの解析、3) 家屋内における人体知覚と震動量の関係の解析も同時に行っていく。</p> <p>・2013 年度：初年度の実験・解析を継続し、「大規模木質構造における大スパン床振動を考慮した設計指針（案）」の作成を目指す。また、同時に「木質系住宅の加速度レベルを低減できる設計指針（案）」原案作成を行う。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：中村 昇 (秋田県立大学木材高度研究所) 幹事：佐野泰之 (名古屋工業大学)、藤野栄一 (能率開発大学校) 委員：鈴木秀三 (能率開発大学校)、入江康隆 (宇都宮大学)、末吉修三 (森林総合研究所)、伊積康彦 (鉄道総合技術研究所)、松本泰尚 (埼玉大学)、新藤 智 (法政大学)、守屋嘉晃 (建材試験センター)、川本聖一 (三菱地所ホーム)、宇京斉一郎 (森林総合研究所)、松尾和午 (三井ホーム)、丸谷周平 (山下設計)、伊奈 潔 (中央建鉄)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2012 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 大スパン木質床の振動性状が人体知覚に及ぼす影響に関しては、予定通りの成果が得られた。 2. 水平・鉛直方向の増幅量を求めるための振動台実験、木質系住宅における増幅メカニズムの解析に関しては、これまでの文献を調べるに留まっている。
委員会活動の問題点・課題	1. どうしても実験を伴う場合、予算や人の問題があり、実行が難しい。